

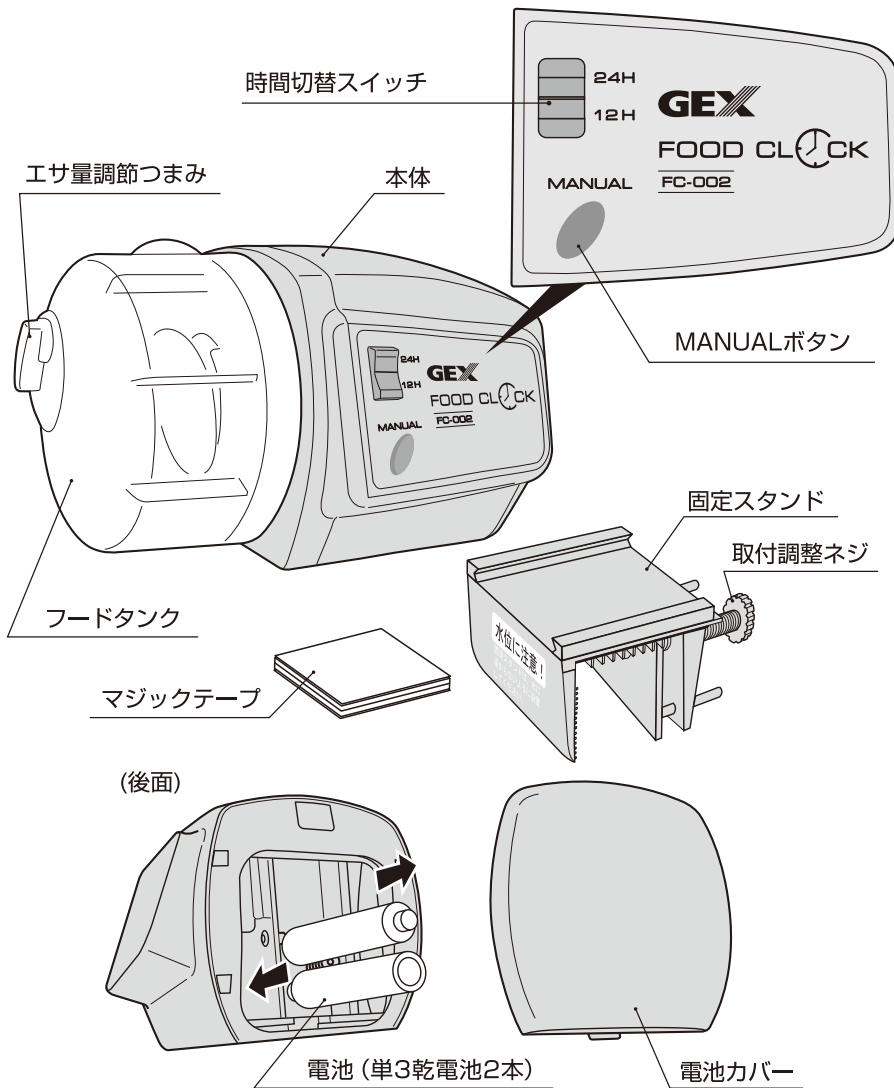
GEX

屋内観賞魚飼育水槽専用自動給餌器

フードクロック FC-002

取扱説明書

各部の名称



このたびは、「フードクロック」をお買い上げいただき、ありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。お読みになった後は、いつでも取り出せる場所に保管してください。

- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
- 本製品に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店もしくは当社にご連絡ください。

■もくじ■

①各部の名称	1
②基本仕様	1
③使用方法	2-3
・電池の入れ方	2
・給餌間隔の設定方法	2
・マニュアル操作について	2
・イサの入れ方	2
・取り付け方法	2-3
・イサ量の調節方法	3
④日常の管理	3
・お手入れ方法	3
・保管方法	3
⑤故障かな?と思ったら	4
⑥安全上のご注意	4

基本仕様

機種名	フードクロック FC-002
品名	観賞魚用自動給餌器
用途	屋内観賞魚飼育用
使用温度範囲	0℃～40℃
プログラム設定	12時間毎(1日2回)、24時間毎(1日1回)の設定可能
使用電池	単3乾電池×2本
連続使用時間	約3ヶ月(アルカリ電池使用、1日2回設定のとき)
製品サイズ(本体部のみ)	約幅14.4×奥行9.5×高さ8.5cm
原産国	中国(MADE IN CHINA)

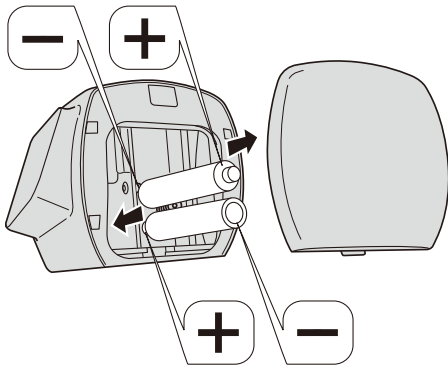
※付属の電池は動作確認用です。

- 製品使用前に説明書をお読みになり、十分理解した上でご使用ください。ご不明な点は、販売店または当社へお問い合わせください。誤った使用方法、勝手な修繕・改造などによる故障などにつきましては補償いたしかねます。
- 製品の製造管理には万全を期していますが、万一、当社の製造管理上の原因による品質不良がありました場合は、同等の新しい製品とお取り換えさせていただきます。それ以外の責任はご容赦ください。
- 製品の仕様、デザイン、価格等予告なく変更する事があります。

使用方法

【電池の入れ方】

1. 本体後面の電池カバーを開けます。
 2. 付属の単3乾電池を、本体内側のイラストに従い+表示がある側に+極がくるよう、交互に2本とも入れてください。
- ※本製品は電池を入れた時からスタートします。



△ 注意

- 通常使用時に電池が消耗すると、フードタンクが回転しなくなります。定期的に新しい電池（2本同時）に交換してください。
- 本製品に付属されている電池は動作確認用です。短時間でフードタンクが回転しなくなる場合がありますのでご注意ください。

【給餌間隔の設定方法】

1. 12時間毎（1日2回）と24時間毎（1日1回）の設定ができます。設定したい時間が表示された側へ時間切替スイッチを移動させてください。

※移動させた時刻から12時間または24時間後に給餌されます。

※時間切替スイッチを移動させない場合、電池を入れてから12時間または24時間後に給餌されます。



△ 注意

- 使用中、時間切替スイッチを動かすと給餌時刻の設定がリセットされますのでご注意ください。
- 電池カバーを外しても給餌時刻の設定がリセットされますのでご注意ください。
- 長期間設定を変更しないと、給餌時間の誤差が生じる場合があります。電池をいったん抜き、再セットしてください。

【マニュアル操作について】

1. MANUALボタンを1回押すと、フードタンクが1回転して給餌ができます。



△ 注意

- フードタンクが1回転し終わるまでは、ボタンを続けて押さないでください。
- マニュアル操作を行っても、設定された時刻は変更されず、そのまま作動します。

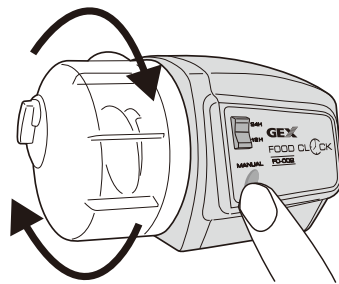
【エサの入れ方】

本製品はフレーク状、粒状のエサに適しています。

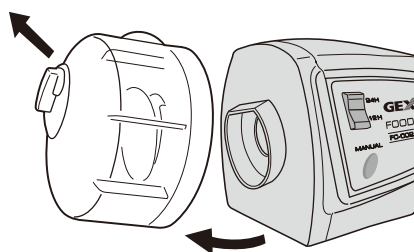
△ 注意

- フレーク・粒のサイズや湿気により、エサの落ちる量にばらつきが出る場合があります。
- 顆粒タイプのフードの場合、微量の調整ができない場合があります。

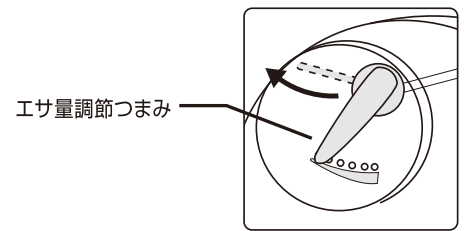
1. エサを入れる前に、一度MANUALボタンを押し、フードタンクが回転するか確認してください。



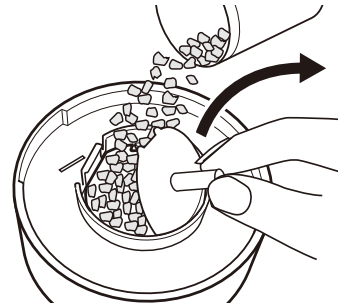
2. 本体のフードタンクを図のように下から斜め上に引っ張って取り外します。



3. 「エサ量調節つまみ」を一番左側の目盛の位置にセットしてください。

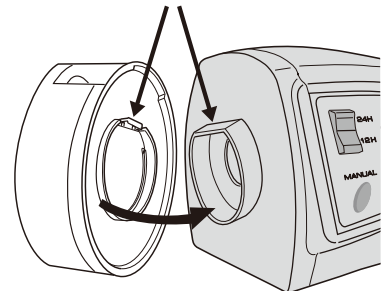


4. 図のようにフードタンクの内フタを引いて開け、エサを入れてください。



5. 内フタを閉め、入れたエサがこぼれないように注意しながらフードタンク内側の部分を合わせて上からはめ込み、斜め下に向けてしっかり差し込んでください。

ここを合わせる



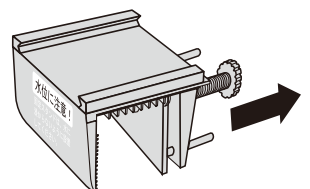
△ 注意

- エサ量はフードタンクの80%以下になるように入れてください。入れすぎるとエサが出ない場合があります。
- フードタンク内はエサの粉などがたまりやすいのでこまめに掃除してください。

【取り付け方法】

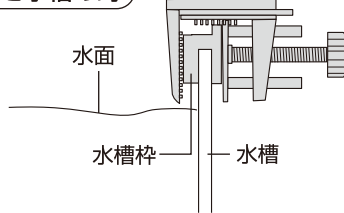
〈 固定スタンドを水槽の枠に取り付けて固定する場合 〉

1. 固定スタンドの取付調整ネジを取り付ける水槽の枠幅に合わせてゆるめます。

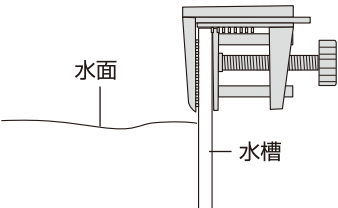


2.エサが水槽内に落ちる場所を選び、水槽枠に固定スタンドをはめて取付調整ネジを回して固定します。

枠付き水槽の時



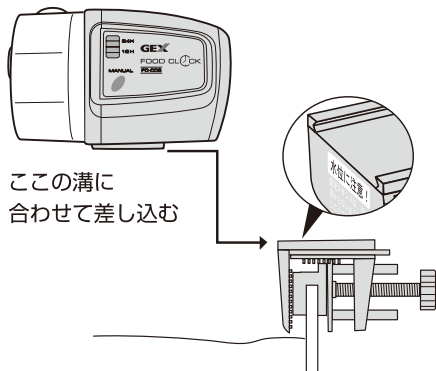
フレームレス水槽の時



注意

- 固定スタンドは、水に浸からないように設置してください。

3.本体底部の溝を固定スタンド上部の溝に合わせて差し込みます。フードタンクの位置などを調整してしっかりと固定してください。



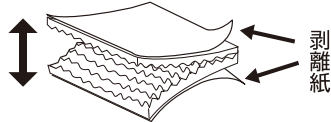
注意

- フードタンクの開口部を下に向けるとエサがこぼれることがありますので注意ください。

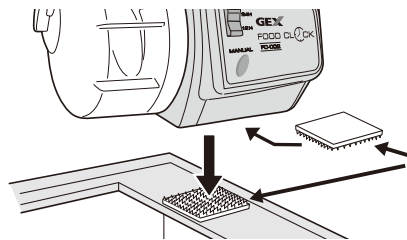
〈付属のマジックテープで固定する場合〉

水槽の枠幅が太く固定スタンドでは挟めない水槽などは、マジックテープで設置できます。

1.マジックテープを外し、テープ背面の剥離紙をはがします。



2.エサが水槽内に落ちる場所を選び、マジックテープを水槽の安定した平らな場所と本体底部に貼り、本体を水槽に取り付けます。



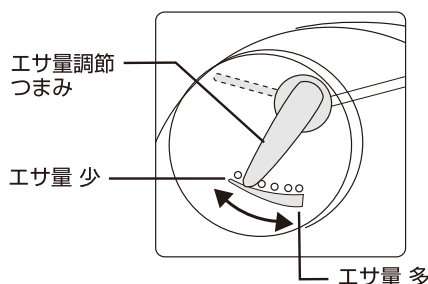
注意

- マジックテープを貼り付ける箇所の表面をきれいに拭いてから貼り付けてください。

【エサ量の調節方法】

1.エサ量調節つまみを動かし、エサの落ちる量を調節してください。

フレーク・粒のサイズや湿気により、エサの落ちる量にばらつきが出ることがあります。



2.MANUALボタンを押し、エサの落ちる量を確認しながら調節してください。



注意

- フードタンクに残っているエサの量により、落ちるエサの量にばらつきが出る場合がありますので、定期的にマニュアル操作を行い落ちるエサ量の確認をお願いします。
- 大きいエサの場合、エサ量調節つまみを最少にするとエサが出ない場合がありますので、調節をお願いします。

注意

絵表示	重要事項	危害・損害
	●フードタンクを手で無理に回さない。	器具損傷の原因になる。

日常の管理

【お手入れ方法】

下記の手順に基づきお手入れする。

- 1.ぬるま湯を浸した布で拭く。
- 2.やわらかい布で水気を完全に拭きとる。

【保管方法】

長期間使用しない場合は水槽から取り外し、電池を抜き下記の手順に基づき保管する。

- 1.お手入れ方法にしたがって、汚れなどを取り除く。
- 2.購入時の箱などを使い、湿気の少ない冷暗所に保管する。

●廃棄する場合は、各自治体の廃棄ルールに従ってください。

注意

絵表示	重要事項	危害・損害
	●本製品を掃除する際、シンナー、ベンジンまたはアルコール及び有機溶剤を含むガラスクリーナーなどは使用しない。	器具損傷の原因になる。



故障かな？と思ったら

症状	点検・処置
本製品がうまく作動しない	<ul style="list-style-type: none"> ●電池の方向(+)が正しくセットされていますか？ 電池の方向(+)を確認してください。 ●電池が消耗していませんか？ 電池を2本同時に新しいものと交換してください。
給餌時間に誤差が出る	<ul style="list-style-type: none"> ●電池をいったん抜き、再セットしてください。

その他、ご使用に際して異常と思われる場合は、ご使用を中止して、お買い求めの販売店もしくは当社にお問い合わせください。安全をご確認いただいた後、ご使用を再開してください。







安全上のご注意 【ご使用前によく読んでください】












この表示を無視して、誤った使い方をしたときに生じる内容を、2つに区分しています。

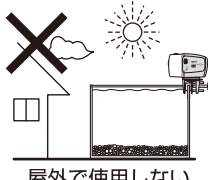
 警告	人が死亡または重傷を負うおそれのある内容
 注意	人が軽傷を負うことや財産の損害が発生するおそれのある内容

この取扱説明書には下記のマークを付けています。


-  禁止行為
  分解禁止
  水ぬれ禁止
  必ず行う

絵表示	重要事項	危害・損害
	●電池から漏れた液に触れない。目に入ったときや触れたときはすぐに水で洗い流し、医師に相談する。	人体への悪影響の原因になる。
	●電池はショート、充電、分解、加熱、火中に入れない。	発火、発熱、破裂、液漏れの原因になる。
	●電池を高所から落下させるなど強い衝撃を与えない。	発火、発熱、破裂、液漏れの原因になる。
	●電池を保管するときや廃棄するときは、他の電池や金属製のものと接触させない。	発火、発熱、破裂、液漏れの原因になる。
	●電池の新旧を混在させない。	発熱、破裂、液漏れの原因になる。
	●電池は＋（プラス・マイナス）を正しくセットする。	発熱、破裂、液漏れの原因になる。


絵表示	重要事項	危害・損害
	●本書記載以外の用途に取り付けや使用をしない。	器具損傷の原因になる。
	●分解、改造しない。	器具損傷の原因になる。
	●屋外で使用しない。	器具損傷の原因になる。
	●直射日光の当たる場所、湯気や油煙の当たるところ、ほこりや湿気が多いところでは使用しない。	器具損傷の原因になる。
	●子供に操作・セットさせる場合は必ず大人の監視のもとで行う。	器具損傷の原因になる。
	●冷凍飼料や生き餌などのエサは入れない。	器具損傷の原因になる。
	●製品を落としたり、強い衝撃を与えない。	器具損傷の原因になる。
	●製品の上に物を置いたり、かぶせない。	器具損傷の原因になる。
	●水中や水のかかる場所では使用しない。	器具損傷の原因になる。
	●水中フィルターやエアーストーン等の上には設置しない。	器具損傷の原因になる。
	●フードタンクのフタが開いた際フタが水面に触れない位置に設置する。	器具損傷の原因になる。



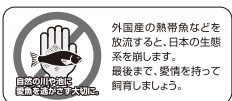
屋外で使用しない。



落としたり、強い衝撃を与えない。



開いたフタが水面に触れない。



このやさしさを人と社会へ

GEX ジェックス株式会社

GEX URL <http://www.gex-fp.co.jp/>

〒578-0903 大阪府東大阪市今米1丁目14番5号

☎ 072-966-0054

「ジェックスサービスセンター」